

公立大学法人福山市立大学 令和6年度 財務レポート



貸借対照表の概要

貸借対照表は、期末時点（3月31日）における財務状況を明らかにするためのものです。法人の持つ全ての資産、負債及び純資産を記載しています。

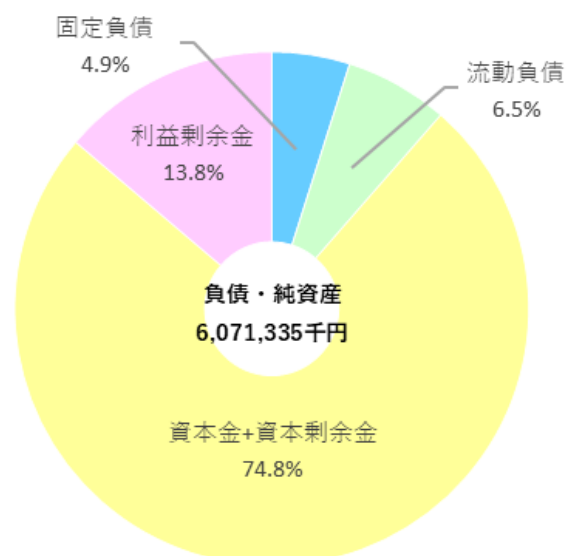
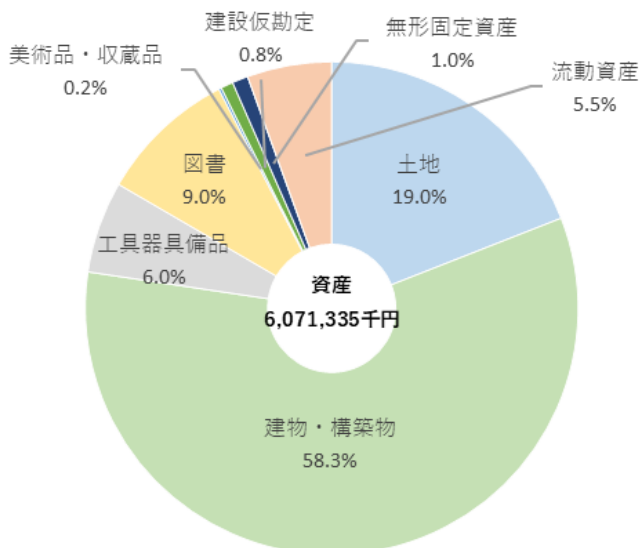
（単位：千円）

資産の部	
I 固定資産	5,735,049
1 有形固定資産	5,671,570
土地	1,156,501
建物	3,349,400
構築物	191,169
工具器具備品	365,298
図書	549,252
美術品・收藏品	11,000
建設仮勘定	48,950
2 無形固定資産	63,289
3 投資その他の資産	190
II 流動資産	336,286
現金及び預金	246,549
未収入金等	82,259
その他	7,478
資産合計	6,071,335

負債の部	
I 固定負債	298,122
長期リース債務	298,122
II 流動負債	394,769
預り施設費	39,512
寄附金債務	52,290
未払金等	182,337
リース債務	98,435
その他	22,194
負債合計	692,890

純資産の部	
I 資本金	5,079,779
II 資本剰余金	△ 537,978
III 利益剰余金	836,644
純資産合計	5,378,444
負債純資産合計	6,071,335

※金額は単位未満を四捨五入しており、合計額は必ずしも一致しない。



※割合 (%) は小数点第2位以下を四捨五入しており、合計値は必ずしも100%にならない。

貸借対照表の経年比較

(単位：千円)

科目	R4年度	R5年度	R6年度	R5→R6増減
【資産の部】	4,482,650	4,389,190	6,071,335	1,682,145
I 固定資産	4,226,858	4,119,915	5,735,049	1,615,134
1 有形固定資産	4,214,427	4,032,783	5,671,570	1,638,787
土地	1,004,406	1,004,406	1,156,501	152,095
建物	2,504,092	2,328,101	3,349,400	1,021,299
構築物	17,178	16,729	191,169	174,440
工具器具備品	112,474	129,393	365,298	235,905
図書	565,277	543,154	549,252	6,098
美術品・収蔵品	11,000	11,000	11,000	-
建設仮勘定	-	-	48,950	48,950
2 無形固定資産	11,881	86,942	63,289	△23,653
3 投資その他の資産	550	190	190	-
II 流動資産	255,792	269,275	336,286	67,011
現金及び預金	241,865	251,447	246,549	△4,898
未収入金等	3,079	11,206	82,259	71,053
その他	10,848	6,622	7,478	856
【負債の部】	915,279	396,624	692,890	296,266
I 固定負債	689,359	153,453	298,122	144,669
資産見返負債	604,885	-	-	-
長期リース債務	84,474	153,453	298,122	144,669
II 流動負債	225,919	243,171	394,769	151,598
預り施設費	-	-	39,512	39,512
寄附金債務	1,488	1,911	52,290	50,379
未払金等	176,625	170,984	182,337	11,353
リース債務	18,110	46,610	98,435	51,825
その他	29,697	23,666	22,194	△1,472
【純資産の部】	3,567,371	3,992,566	5,378,444	1,385,878
I 資本金	3,860,479	3,860,479	5,079,779	1,219,300
II 資本剰余金	△340,971	△516,962	△537,978	△21,016
III 利益剰余金	47,862	649,049	836,644	187,595
目的積立金	28,317	47,862	54,522	6,660
積立金	-	-	577,747	577,747
当期末処分利益	19,546	601,186	204,376	△396,810

※金額は単位未満を四捨五入しており、合計額は必ずしも一致しない。

【土地】
新棟整備に係る土地の取得により増加したものです。

【建物】
小松安弘記念館の取得（福山市より現物出資）により増加したものです。

【構築物】
小松安弘記念館の取得（福山市より無償譲与）により増加したものです。

【工具器具備品】
リース取引を含む取得により増加したものです。

【建設仮勘定】
新棟整備に係るものです。完成年度に他科目に振り替わります。

【長期リース債務・リース債務】
新規契約により債務が増加したものです。

【預り施設費】
新棟整備に係るものです。

【寄附金債務】
みらい共創基金の創設等に伴い増加したものです。

【資本金】
小松安弘記念館の建物出資により増加したものです。

【目的積立金】
前期末処分利益（経営努力による利益）の振替によるものです。R6年度には、取崩も行っていきます。

【積立金】
前期末処分利益（経営努力以外による利益）の振替によるもので、キャッシュの裏付けのない利益です。

損益計算書の概要

損益計算書は、一会計期間（4月1日から3月31日まで）に属するすべての費用と収益を記載した書類です。法人の運営状況を明らかにすることを目的とします。

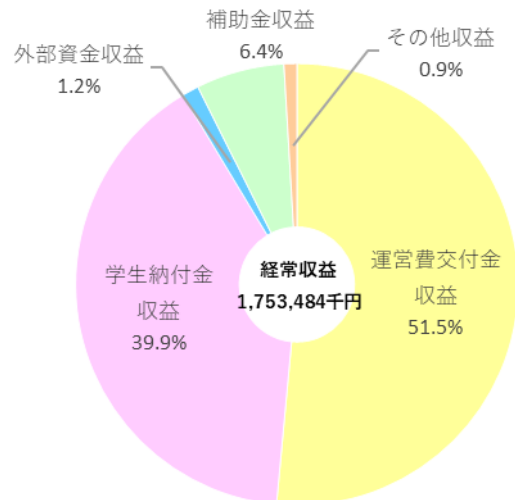
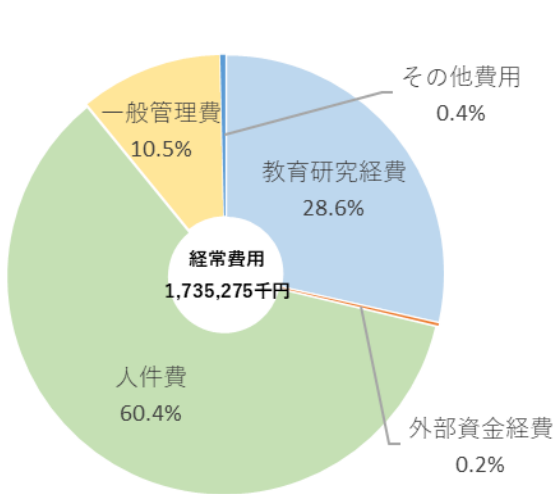
(単位：千円)

経常費用	
教育研究経費	495,492
外部資金経費	2,937
人件費	1,047,392
一般管理費	182,959
その他費用	6,494
経常費用合計	1,735,275

経常収益	
運営費交付金収益	902,651
学生納付金収益	699,607
外部資金収益	21,722
補助金収益	113,013
その他収益	16,491
経常収益合計	1,753,484

経常利益	18,210
臨時利益	178,823
目的積立金取崩額	7,343
当期総利益	204,376

※金額は単位未満を四捨五入しており、合計額は必ずしも一致しない。



※割合 (%) は小数点第2位以下を四捨五入しており、合計値は必ずしも100%にならない。

- 当期総利益（収益－費用）204,376千円のうち、183,250千円を積立金とし、残りの21,126千円が経営努力として福山市に認定され、目的積立金として積み立てています。
- 目的積立金は、中期計画に定める教育研究の質の向上及び組織運営の改善のため、今後法人業務の財源として活用することができます。

損益計算書の経年変化

(単位：千円)

科目	R4年度	R5年度	R6年度	R5→R6増減
経常費用	1,412,037	1,546,060	1,735,275	189,215
教育研究経費	421,561	475,111	495,492	20,381
外部資金経費	936	2,559	2,937	378
人件費	936,251	988,440	1,047,392	58,952
一般管理費	52,621	76,504	182,959	106,455
その他費用	668	3,446	6,494	3,048
経常収益	1,431,583	1,542,361	1,753,484	211,123
運営費交付金収益	697,198	809,890	902,651	92,761
学生納付金収益	697,517	693,445	699,607	6,162
外部資金収益	8,071	10,736	21,722	10,986
補助金収益	2,400	11,385	113,013	101,628
資産見返負債戻入	10,382	—	—	—
その他収益	16,015	16,904	16,491	△413
経常損益	19,546	△3,699	18,210	21,909
臨時損益	—	604,885	178,823	△426,062
目的積立金取崩額	—	—	7,343	7,343
当期総利益	19,546	601,186	204,376	△396,810

【教育研究経費】
リース減価償却費や小松安弘記念館関連経費の増加によるものです。

【人件費】
職員の増員及び人事院勧告によるものです。

【一般管理費】
小松安弘記念館の家具類調達及び学部新設準備費の増加によるものです。

【補助金収益】
小松安弘記念館の家具類調達や学部新設準備費の財源として増加したものです。

【目的積立金取崩額】
港町キャンパスの外壁改修工事のために取崩を行ったことによるものです。

※金額は単位未満を四捨五入しており、合計額は必ずしも一致しない。

【経常費用について】

R5年度と比較して、経常費用は189,215千円増加しました。増加の主な要因は、小松安弘記念館の家具類調達の費用が発生したことや、情報工学部（仮称）の設置検討に伴う学部新設準備費の増加等により、一般管理費が増加したものです。また、職員の増員や人事院勧告により人件費も増加しました。

【経常収益について】

R5年度と比較して、経常収益は211,123千円増加しました。増加の主な要因は、小松安弘記念館の家具類調達に関する費用や、学部新設準備費として施設整備費等補助金を財源とした費用執行額が増加したことに伴い、補助金収益が増加したことによるものです。

【臨時損益について】

R5年度は、会計基準の改訂に伴い、多額の臨時利益（キャッシュの裏付けなし）が発生していました。R6年度は、福山市より小松安弘記念館の無償譲与を受けたため、臨時利益178,823千円が発生しましたが、R5年度と比較すると、臨時損益は426,062千円減少しました。

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、資金（キャッシュ）の流れ（フロー）を法人活動区分別に示したものです。貸借対照表や損益計算書からは読み取ることのできない、現預金の収支状況を把握することを目的とします。

(単位：千円)

科目	R4年度	R5年度	R6年度	R5→R6増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	102,309	71,219	113,609	42,390
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△335,493	△325,171	△363,406	△38,235
人件費支出	△948,983	△961,723	△1,060,490	△98,767
その他の業務支出	△42,716	△52,948	△131,125	△78,177
運営費交付金収入	766,333	809,890	904,217	94,327
運営費交付金の返還による支出	-	△53,957	-	53,957
授業料収入	515,675	522,426	519,458	△2,968
入学金収入	100,871	90,440	94,317	3,877
検定料収入	22,196	20,659	27,019	6,360
受託研究収入	1,118	1,000	1,993	993
共同研究収入	-	2,342	1,132	△1,210
補助金等収入	600	3,223	43,384	40,161
寄附金収入	1,480	5,480	62,665	57,185
その他の業務収入	18,987	15,791	15,497	△294
預り金の増減額	2,241	△6,232	△1,052	5,180
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,072	△12,575	△19,678	△7,103
有形固定資産の取得による支出	△15,862	△12,782	△228,731	△215,949
無形固定資産の取得による支出	△1,020	-	-	-
その他の投資活動による支出	△190	207	-	△207
施設費による収入	-	-	209,046	209,046
小計	△17,072	△12,575	△19,685	△7,110
利息及び配当金の受取額	-	-	7	7
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,423	△49,061	△98,829	△49,768
リース債務の返済による支出	△19,755	△45,976	△92,376	△46,400
小計	△19,755	△45,976	△92,376	△46,400
利息の支払額	△668	△3,086	△6,453	△3,367
IV 資金増加額	64,814	9,583	△4,898	△14,481
V 資金期首残高	177,051	241,865	251,447	9,582
VI 資金期末残高	241,865	251,447	246,549	△4,898

【業務活動による
キャッシュ・フロー】

教育・研究等の法人業務に係る資金の支出・収入を表します。

【投資活動による
キャッシュ・フロー】

固定資産の取得に伴う支出、資産運用に伴う支出や収入等を表します。

【財務活動による
キャッシュ・フロー】

主に資金の調達や返済に係る資金の増減を示します。当法人では、借入金はありませんが、リース契約に伴うリース料の支払いがありました。

※ 金額は単位未満を四捨五入しており、合計額は必ずしも一致しない。

財務指標

貸借対照表では財務健全性等、損益計算書では収益性等を知ることができます。
各種財務指標において、一概にその良否を判断することは難しいですが、その評価の目安として分析することができます。

指標	説明	計算書類	備考	R4年度	R5年度	R6年度
流動比率	流動負債に対する流動資産の割合を示すもの $\text{流動資産} \div \text{流動負債}$	貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・100%を上回ることが望ましいとされる ・短期的に返済義務が生じる負債と、短期的に現金化される資産を比べ、財務健全性をはかるもの ・公立大学法人は安全性の高い大学が多い 	113.2%	110.7%	85.2%
自己資本比率	負債・純資産に占める、返済義務のない資本である純資産の割合を示すもの $\text{純資産} \div (\text{負債} + \text{純資産})$	貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率は経営の安定性を表す数値であり、高いほど良好な状況といえる 	79.6%	91.0%	88.6%
固定長期適合率	自己資本と固定負債に対する固定資産の比率を示すもの $\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債})$	貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・100%を下回ることが望ましいとされる ・固定資産が自己資本と長期債務の固定負債で賄えているか示すもの ・100%を上回ると、短期債務の流動負債で固定資産を取得していることになり、将来の支払いが困難になる可能性がある 	99.3%	99.4%	101.0%
経常利益率	経常収益に占める、経常利益の割合を示すもの $\text{経常利益} \div \text{経常収益}$	損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・大学は営利企業ではなく、利益を生むことが前提ではないため、通常利益が出にくい状態である ・通常、過去の利益により積立金が生じているため、利益率がマイナスが出た場合でも直ちに経営に影響が出るものではない 	1.4%	-0.2%	1.0%
総資産経常利益率	大学の保有する資産に対して、どれだけ利益をあげているかを示すもの $\text{経常利益} \div \text{総資産}$	貸借対照表 損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・土地等を賃貸借している場合等、総資産が少なくなり、比率が高くなる場合もある 	0.4%	-0.1%	0.3%
人件費率	人件費が法人の業務費に占める割合を示すもの $\text{人件費} \div \text{業務費}$	損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・学部構成により数値が変わるため、各大学の実情に応じた比率を目標とすべき 	68.9%	67.4%	67.8%
自己収入比率	経常収益（科研費含む）のうち、自己収入等が占める割合を示すもの $(\text{自己収入等} + \text{科研費}) \div (\text{経常収益} + \text{科研費})$	貸借対照表 損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・数値が大きいほど財務の自立性が高いと判断できる 	51.3%	48.5%	43.4%
教育経費率	人件費を除いた大学の教育活動経費が経常経費に占める割合を示すもの $\text{教育経費} \div \text{経常費用}$	損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・数値が大きいほど教育活動に投じられた物件費等が大きいと解釈できる 	16.0%	15.2%	15.7%
研究経費率	人件費を除いた大学の研究活動経費が経常経費に占める割合を示すもの $\text{研究経費} \div \text{経常費用}$	損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・数値が大きいほど研究活動に投じられた物件費等が大きいと解釈できる ・学部構成により影響を受ける指標である 	3.6%	3.5%	3.4%



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号

【発行】 2026年2月

公立大学法人福山市立大学事務局 経営企画課

【TEL】 084-999-1070

【FAX】 084-928-1248

【MAIL】 keiei@fcu.ac.jp